

【新製品情報】**次世代プロジェクタ用スペックルノイズ測定器**

株式会社オキサイド（山梨県北杜市、古川保典社長）は、レーザ光源のスペックルノイズ測定器（製品名：「スペックル評価装置」）を発売します。同装置は共同研究パートナーである東京大学生産技術研究所の久保田重夫教授が世界で初めて開発し、オキサイドが製品化したものです。

● 開発の背景

近年、ハイビジョン映像や大型スクリーンによる3Dシネマなどのディスプレイ用途向けにRGBレーザ（赤・緑・青の三原色のレーザ）を光源に使用したプロジェクタやプレゼンテーション用途のモバイルプロジェクタなどの次世代プロジェクタの開発競争が本格化しています。

従来のハロゲンランプやLEDを使用したプロジェクタに代わってメーカー各社は、輝度が高く、小型で低消費電力なレーザ光源を使用したプロジェクタの開発にしのぎを削っていました。

しかし、レーザ光源は輝度が高い反面、コヒーレンスも高く、スクリーン拡散面を照射するとスペックルノイズと呼ばれるランダムな干渉模様が発生し、同ノイズの解消が大きな技術課題となっていました。メーカー各社はこの問題を解決すべくレーザ光源本体の特性改善やスクリーンの改良、特殊光学部品の開発などを行ってきましたが、今まではスペックルノイズを測定する標準装置が無く、各社とも独自の方法で測定しているため、業界団体でも標準化が出来ていない状況でありました。

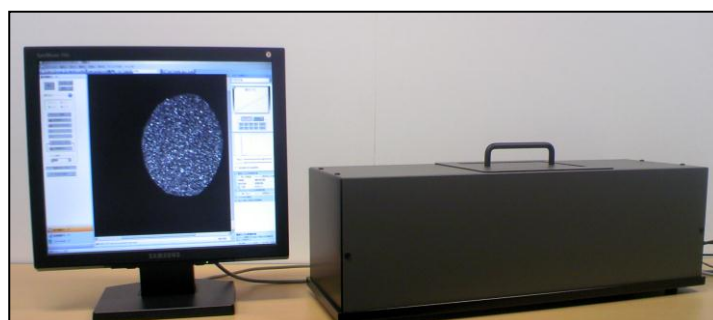
● スペックル評価装置について

今回のスペックル評価装置は、複数開口を用いてスペックルコントラストを測定し、その開口径依存性を実験的に確認することによって、世界で初めてスペックルコントラストを定量的かつ再現性よく測定出来るようにしたものです。製品開発の共通指針が確立されることで、RGBレーザを光源とする次世代プロジェクタの開発が加速することが期待されています。

装置の販売価格は1台300～500万円を予定しています。

【問い合わせ先】

株式会社オキサイド 営業グループ
〒408-0302 山梨県北杜市武川町牧原 1747-1
担当： 時田、福部
TEL: 0551-26-0022 FAX: 0551-26-0033
e-mail: sales@opt-oxide.com
URL: <http://www.opt-oxide.com>

**製品外観**